

## ふくいふるさとの音風景50選

	写真	音風景の名称	市町	音風景の概要	ジャンル
1		一乗谷の水の音	福井市	特別史跡である一乗谷朝倉氏遺跡周辺は福井市の中でも特に自然が美しい地区。佐々木小次郎が燕返しをみだしたと言われる一乗滝の勇壮な音や一乗谷あさくら水の駅の水車の音が市民の癒しの場となっています。	自然
2		足羽川堤防の虫の声	福井市	福井市中央部を流れる足羽川の堤防には「桜の名所100選」にも選ばれた約2kmにもわたる桜並木があり、満開時には壮大な桜のトンネルが楽しめます。また、自然の音を聞きながらの散歩コースとしても親しまれています。	自然
3		足羽山の自然の音	福井市	足羽山は福井市の中心部に位置していますが、桜やアジサイなど季節の花が咲き誇ります。様々な動物(鳥やポニーなど)がいるミニ動物園や自然史博物館もあり、虫や鳥の声を聞きながら散歩する憩いの場です。	自然
4		大麦を刈る音とひばりの鳴き音	福井市	福井県は六条大麦の収穫が日本トップクラスです。大麦の収穫時期になると畑が黄金色にそまり、畑の上を飛び回るひばりの鳴き声が聞こえます。	自然
5		中池見湿地のカエルの声	敦賀市	敦賀市街にほど近い中池見湿地は、ラムサール条約湿地に登録された貴重な湿地です。昔ながらの豊かな里山生態系が残されていて、様々な生き物に出会うことができます。雪解けから夏にかけてニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエルなどの鳴き声が季節とともに移り変わります。	自然
6		敦賀まつり	敦賀市	氣比神宮の秋の例大祭である敦賀まつりは、毎年9月2日～15日まで続きます。市民総参加のもと、みこしや勇壮な6基の山車が市内を練り歩きます。	祭り
7		おぼろ昆布をすく音	敦賀市	「片足に力を入れてふんばりながら、ぴんと張った昆布を特殊な包丁で一削りすると、魔法のようにふわりと舞う。子供のときはその魔法が不思議でずっと見ていた(略)今も昔も変わらないその味を作り出す音は今日も職人達によって奏でられている(H27音風景作文コンテスト佳作より)」	産業
8		お水送り (鵜の瀬)	小浜市	3月12日に奈良東大寺二月堂で行われる「お水取り」に先がけて、毎年3月2日に行われる「お水送り」。夜に行われる3千人の松明行列では山伏によるホラ貝の音が響き幻想的な雰囲気漂います。	祭り
9		放生祭のお囃子	小浜市	毎年9月中旬に行われる八幡神社のお祭り。「撥を持つ手にまだ汗がにじむ九月の夜。紅柄の格子戸から漏れる柔らかい光。そして、その光に馴染む様に祭太鼓を練習する音が聞こえてくる。小浜地区にとっては夏から秋へと季節の変わり目を告げる音だ。」(H27音風景コンテスト佳作より)」	祭り
10		若狭塗り箸を作る音	小浜市	若狭塗箸は全国の8割の生産量を誇ります。塗箸作りは、原材料である木や竹を加工することから始まり、下塗り、上塗り(絵付け・研ぎ出しなど)を様々な過程を経て美しい若狭塗箸になります。	産業
11		くずまんじゅうを冷やす音	小浜市	くずまんじゅうは、豊かな湧水で冷やされ、小浜市の夏の風物詩です。店先で聞こえる水が流れる音が、見た目の涼しさと合わせ、より一層涼を誘います。	その他
12		六呂師高原の虫や鳥の声	大野市	県の自然保護センターでは4月～10月に自然観察会を開催しており、四季を通じてオオルリ・キビタキのさえずりやコオロギの鳴き声などを豊かな自然の音を聞くことができます。	自然
13		御清水 (おしょうず)	大野市	大野市は地下水が豊富で、町のいたるところに湧水池があります。なかでも名水百選に選ばれた「御清水」は、夏は冷たく、冬は温かい水がこんこんと湧き出し市民の憩いの場として利用されています。	自然

	写真	音風景の名称	市町	音風景の概要	ジャンル
14		義景水琴窟の反響音	大野市	戦国武将、朝倉義景の墓所一帯は湧水地(義景清水)です。隣接する「義景公園」にある水琴窟では、琴の音に似た美しい反響音が積雪時期を除いて楽しめます。	その他
15		七間朝市の声	大野市	大野の碁盤の目のような通り、その七間通りにたつ青空朝市は400年以上の歴史を誇っています。くったくのない笑顔のオバちゃんたちが話す大野弁も楽しい市は毎年春分の日～大晦日までの朝7時～11時頃まで開かれています。	その他
16		平泉寺白山神社	勝山市	養老元年(717)に泰澄大師によって建てられた修験道三聖地の一つです。拝殿あとは、じゅうたんを敷きつめたような青苔が美しく、静寂に包まれています。夏は蝉の声が賑やかに響きます。	自然
17		勝山左義長祭り	勝山市	2月の最終土、日曜に開催され300年以上の歴史があります。町民が主体となり行われ、町民の結束を強める役割を果たしてきました。市街地の各町内がそれぞれ櫓を建て、その上で長襦袢を着た男衆が三味線・笛・鉦のお囃子にのって滑稽なしくさで太鼓を叩きます。	祭り
18		恐竜の声 (恐竜博物館)	勝山市	恐竜博物館は、大人から子供まで楽しめる化石の発掘体験も行えるフィールドミュージアムを兼ね備えた施設です。実物大の恐竜のオブジェが鳴き声を上げながら動く様子はすごい迫力です。	その他
19		榎清水	鯖江市	千古の昔から一度も枯れることなく湧き出ているとされ、近松門左衛門が幼少期に水遊びに興じたとも伝えられる大変歴史の古い名水です。地域の人々の生活用水として大切に保全され、清らかな水を満たし続けています。	自然
20		やんしき踊り	鯖江市	江戸時代中期から始まったと伝えられている盆踊り。かつては嶺北一帯で広く踊られていましたが、現在では鯖江市周辺でのみその伝統を受け継いでいます。7月～8月にかけて盆踊りの歌声や踊り手の囃子言葉が賑やかに響きます。	祭り
21		軒先工房のものづくりの音	鯖江市	約1,500年の伝統を受け継ぐえちぜん漆器の木工、塗り、蒔絵の各工程を軒下で見学できる「軒下工房」。職人さんとの語らいや木地を切り出す荒々しい音や漆職人の繊細な音を通じ、ものづくりの素晴らしさ、ぬくもりが感じられます。	産業
22		西山公園の動物園・結びのチャイムの音	鯖江市	西山動物園は、公園内に昭和60年に開設。中国から贈られたレッサーパンダを中心に、リスザルやタンチョウなど、様々な動物の生態を楽しむことができます。結びのチャイムは公園の中腹にあり、メダルを入れるとウィンドチャイムから美しい音が流れ、愛が深まりそうです。	その他
23		芦原温泉	あわら市	明治16年の開湯以来、「関西の奥座敷」と呼ばれるほど風雅な温泉まちで、旅館によって源泉が異なるため、異なる泉質が楽しめます。芦原温泉には大正時代、芸芸や作法を教える学校がありました。今でも芦原芸妓は芸を磨くため、厳しい稽古に励みます。	その他
24		越前桐タンスを作る音	越前市	江戸後期より木工技術を持った職人が住み、明治中期ごろに本格的なタンス造りの職人が中心となりタンス町をつくりました。工房では職人が木を削る音や釘を打つ音など一定のリズムが響きます。	産業
25		越前和紙を漉く音	越前市	越前和紙の歴史は1,500年。職人は、和紙を漉きながら「越前紙漉き唄」を口ずさみます。また、越前市内の小学校では6年生が卒業証書を自ら漉くなど伝統産業を次世代に残す取り組みがなされています。	産業
26		打ち刃物を鍛錬する音	越前市	タケフナイフビレッジでは越前打ち刃物の鍛錬を体験でき、また、元旦午前0時から、「初打」(烏帽子に白装束の古式姿の親方と子方が、風を起し、鉄を赤めて刃物を鍛える伝統的な作業)が行われるなど、迫力のある製造過程を知ることができます。	産業
27		三国花火	坂井市	三国サンセットビーチにおいて、毎年8月11日に北陸最大規模を誇る大花火大会が開催されます。名物は豪快な水中花火で、花火師が直接海に投げ込む方法で、水面にクジャクの羽のように花火が広がります。	祭り

	写真	音風景の名称	市町	音風景の概要	ジャンル
28		千古の家の囲炉裏の音	坂井市	別名”千古の家”とも呼ばれている坪川家住宅は、江戸時代初期に建てられた県内最古の民家。防虫のため、夏でも火を絶やさず、パチパチという囲炉裏の音が聞こえます。	その他
29		三国湊ボランティアガイドの声	坂井市	大正ロマンを感じさせる旧森田銀行本店など、三国湊町の古い町並みには歴史と魅力が溢れます。地元を知り尽くした元気なボランティア観光ガイドが話す生き生きとした当時の歴史を聞きながらそぞろ歩きが楽しめます。	その他
30		永平寺	永平寺町	読経や食事などすべてが修行につながっており、鐘や鈴、板を鳴らす音が修行僧の合図となります。除夜の鐘が有名ですが、寂光苑では一般の方も鐘を突くことができます。	その他
31		かずら橋で聞く川のせせらぎ	池田町	足羽川渓谷にかかる全長44mの全国的にも珍しいカズラのつり橋で、渡ると独特の揺れがあります。下から見ると、新緑の季節は緑がとてもきれいに映え、足羽川のせせらぎと合わさった爽やかさを感じることができます。	自然
32		水海の田楽能舞	池田町	鵜甘神社で毎年2月15日に水海の住民によって奉納されます。田楽と能が合わさった珍しい舞で、700年以上の歴史があります。当日、舞人は冷たい水海川で体を清め、田楽では「インヤーハー」の掛け声のなか舞が進みます。	祭り
33		汽笛の音	南越前町	昭和37年の北陸トンネル開通まで、「鉄道のまち」として繁栄した今庄には、数々の鉄道遺産が現在も残っています。イベント（街道浪漫・今庄宿、旧国鉄北陸線ウォーキング大会）では、コンプレッサーを使った汽笛の音を聴くことができます。	産業
34		O・T・A・I・K O響の明神太鼓の音	越前町	大太鼓「明神」は、製作期間3年をかけて作られた「太鼓の町」織田地区のシンボルです。その音色は8月に開催される「O・T・A・I・K O響」で披露され、身体全体で感じ取る音は多くの観衆を魅了しています。	祭り
35		水中綱引き	美浜町	1月の第3日曜日、三方五湖の一つ日向湖と日本海を結ぶ運河の水中で豊漁を祈って行われる綱引き行事(神事)で国選択無形民俗文化財に指定されています。海に飛び込み綱を引く姿は迫力満点です。	祭り
36		明鏡洞の波音	高浜町	「八穴の奇勝」と呼ばれる8つの自然洞穴のひとつ。洞穴の彼方に見える水平線が鏡のようなところから名付けられました。春から初夏にかけては洞穴の向こうに漁火が並ぶ美しい景色も見られます。	自然
37		若狭おおいスーパー大火勢（おおがせ）	おおい町	重さ300貫（約1,125kg）、高さ60尺（約20m）もの燃えさかるスーパー大火勢を若衆が「ヤッサー、ヤッサー」の勇ましい掛け声に合わせて立ち上げ、舞い散る火の粉を振り払いながら回転させます。闇夜に浮かび上がる炎の輪は、とても力強く幻想的な風景です。	祭り
38		瓜割の滝	若狭町	名水百選の一つに選ばれた瓜割の滝は、あまりの冷たさに瓜が割れてしまったという伝説に由来しています。天徳寺の境内奥に広がる森の中、岩を割ってこんこんと沸きでる名水は、滝となって流れます。	自然
39		三方湖のたたき網漁	若狭町	毎年11月中旬～3月末に行われる伝統漁法です。漁師さん達が青竹で水面をたたきバツーンという音とともに、魚を網へ追い込む姿が若狭の冬の風物詩となっています。地元では「たたき」の方言から「かち網漁」とも言われています。	祭り
40		熊川宿の川のせせらぎ	若狭町	水との関係が深く、街道沿いの家の前に、「前川」と呼ばれる幅が1mほどの石積みの用水路が整備され、豊富な水量を誇っています。生活用水として現在も大切に活用されており、地元住民による花の植栽や清掃活動が実施されています。	祭り
41		「越前がに」漁と競の声	坂井市 越前町	日本海を代表する冬の味覚の王者「越前がに」解禁日は、夜明けの港（大樟漁港他）に船のエンジン音や競の掛け声で港全体が活気づきます。その日のうちに港に戻り、全国的にも珍しい「タセリ」が行われ、新鮮な蟹が県内外に発送されます。	祭り

	写真	音風景の名称	市町	音風景の概要	ジャンル
42		東尋坊から越前海岸の波音	福井市 越前町 南越前町 敦賀市	東尋坊では、昔、暴僧だった「東尋坊」がここで海に突き落とされ、命を落とし、東尋坊の無念により海は大荒れとなったという言い伝えがあります。特に冬場に打ち付ける波音は、普段の穏やかな波音とは違う迫力があります。	自然
43		九頭竜川のせせらぎ	嶺北地域	九頭竜川(くずりゅうがわ)は、福井県嶺北地方を流れる一級河川で九頭竜川水系の本流です。鮎・やまめ(サクラマス)釣りが盛んで、また、アラレガコの生息域が天然記念物に指定されるなど魚が豊富に生息しています。	自然
44		まんじゅうまきの音	嶺北地域	嫁入り当日に新郎宅で行われた県独自の風習。明治頃から嶺北で見られ、戦後県内に広まりました。近隣住民ら大勢が集まり賑やかに行われていたが、20年前頃から徐々に見られなくなった。今ではイベント等で行われており、一つでも多く拾おうと熱い姿が見られます。	その他
45		美しい海水浴場の波音と賑わい	福井県一円	福井県には、気比の松原(敦賀市)、サンセットビーチ(坂井市)、水晶浜(美浜町)など美しい海水浴場では多くの海水浴客で賑わいます。この素晴らしい環境を未来に残していくため、砂浜や周辺環境の保全活動が行われています。	自然
46		ローカル線の音	福井県一円	福井県のローカル鉄道はIR越美北線、JR小浜線、えちぜん鉄道、福井鉄道があります。地元に着着しており、通勤・通学のため多くの県民に利用されています。福井鉄道は、めずらしい路面電車として知られています。	その他
47		雪にまつわる音	福井県一円	雪に足をとられることを「がぼる」というなど県民に身近な雪。「外に目をやると、一面真っ白な雪(略)その世界に、自然と吸い込まれるように一歩足をだすと、「ガボッ」という音と共に、膝から下が雪で見えなくなっていた。(H28音風景コンテスト最優秀賞作品より)また、スキー場も多く、スキーやスノーボードでたくさんの方が楽しめます。	自然
48		織機の音	福井県一円	福井県の繊維の歴史は古く、奈良時代には既に全国有数の絹織物産地となっていたようです。事業所は減少傾向にありますが、新たな取り組みも続けられています。	産業
49		そばにまつわる音	福井県一円	福井県では大晦日に冷たいおろしそばを食べる家があるなどそば文化が盛んです。職人さんがそばを切る『トントントン』というリズムカルな音と細く切られていく様には思わずひきつけられてしまいます。	その他
50		かるたをとる音	福井県一円	福井県は小倉百人一首競技かるたが盛んな「かるた王国」。競技かるたは、100分の1秒のレベルで札を取る「置の上の格闘技」とも呼ばれ、句が読み上げられると同時に札を払う大きな音が響きます。	その他